

VI. エリエゼル



アブラハムの信仰面における影響は、彼が信頼したしもべ、エリエゼルの歩みに反映されています。エリエゼルの両親は、おそらくはダマスコの出身でしたが、彼が生まれた時にはアブラハムのしもべであったことがわかります。「そこでアブラハムは申し上げた。『神、主よ。私に何をお与えになるのですか。私にはまだ子がありません。私の家の相続人は、あのダマスコのエリエゼルになるのでしょうか。…私の家の奴隷が、私の跡取りになるでしょう』」（創 15:2-3）。

アブラハムの信仰と祈りの生活は、エリエゼルに幼少の頃から強い影響を与えるものとなりました。「助けの神」を意味するエリエゼルという名前を誰が選んだにせよ、これは名づけ親の、神に対する強い信仰を示すものとなっています。アブラハムが祈っているということは、神に個人的にお会いしているだけではなく、しもべたちも含めた、一家を挙げての行いでもあったのです。アブラハムとエリエゼルの関係に見られる真理はおのずから明らかです。私たちは自らの模範と実践により、「互いに勧め合って、愛と善行を促す」（ヘブル 10:24）のです。

その結果、何年もの後、アブラハムのしもべ（おそらく間違いなくエリエゼル）が息子イサクの妻を探して来るよう命じられたとき、しもべは、アブラハムに命じられたままに、神の導きと助けを求めます。「そうして言った。『私の主人アブラハムの神、主よ。きょう、私のためにどうか取り計らってください。私の主人アブラハムに恵みを施してください』」（創 24:12）。神はもちろん、どれほど名もない人々であっても、人々の暮らしの中の事柄に関わりたいと願っておられます。そして、どのような人であれ、自分が神に信頼する者であることを認め、神のご介入を求めるならば、喜んで関わってくださるのです。

一般的に西洋文化では、アブラハムが息子イサクのために採ったような配偶者選択の方法は採用されていませんが、配偶者を選ぶ過程で神の関与をお招きするという原則は、いまだ時代遅れなものとなってはいません。神に誠実かつ真剣にお願いをし、お委ねするということに戻るならば、神のお定めになった家庭と家族の崩壊をもたらしている忌むべき離婚率からも、多くの国で改善が望まれることでしょう。

エリエゼルが神の導きに従った方法については、深く思いを巡らせ注意を向けるだけの価値があります。というのも、これはクリスチャンたちが、結婚以外の他の決断に際しても、神のみこころと進むべき方向を求めるに際して用いられてきた（そして時には濫用されてきた）方法だからです。

「ご覧ください。私は泉のほとりに立っています。この町の人々の娘たちが、水を汲みに出てまいりましょう。私が娘に『どうかあなたの水がめを傾けて私に飲ませてください。』と言い、その娘が『お飲みください。私はあなたのらくだにも水を飲ませましょう。』と言ったなら、その娘こそ、あなたがしもべイサクのために定めておられたのです。このことで私は、あなたが私の主人に恵みを施されたことを知ることができますように。」（創世記 24:13-14）

神が私たちの目に見える環境を通してお導きくださるということは、(エリエゼルの体験に見られるように) 確かに今日もあり得ることです。しかし、私たちは、それ以上に、新約聖書の時代にふさわしく、かつ適用可能なものと思われるような導きのあり方にも意識を向けおかなければなりません(この点については、後の章でまた取り上げます。特に下巻の第11章、第16章をご覧ください)。しかし、祈りを用いるという点でエリエゼルの例に従うことの適切さについて私たちがどのような疑問を抱いているかにかかわらず、神が彼の信仰と祈りを尊重され、リベカからの反応を彼の願いと完全に一致する形で引き出されたことは、忘れてはなりません。エリエゼルは、ためらいや疑いを抱いたまま取り残されることはなかったのです。彼はまた、神のご介入と導きを即座に認識しています。「そこでその人は、ひざまずき、主を礼拝して、言った。『私の主人アブラハムの神、主がほめたたえられますように。主は私の主人に対する恵みとまことをお捨てにならなかった。主はこの私をも途中つつがなく、私の主人の兄弟の家に導かれた』」(創 24:16-27)

? 質問

- 1 アブラハムのしもべエリエゼルが主人から命じられた使命は何でしたか？
- 2 アブラハムの信仰と祈りの生活は、どのようにまわりの人々に影響を与えていましたか？
エリエゼルがアブラハムの祈りの生活に影響を受けたように、あなたは誰かの祈りから影響を受けたことがありますか？ あなたの祈りが、誰かの祈りの生活に影響を与えたことがありますか？
- 3 エリエゼルは、主人から託された使命を果たすために何を求めましたか？ エリエゼルのように、あなたは自分のなすべきことのために神の介入を求めて祈ったことがありますか？
- 4 エリエゼルは どのようにして神の導きを知ろうとしましたか？
- 5 神はエリエゼルの信仰と祈りを尊重されました。その結果、彼は神の介入と導きを認めることができました。あなたにも、これは神が介入された祈りの答えだとわかった経験がありますか？
- 6 今日読んだ箇所から、あなたは祈りについてどんなことを教えられましたか？
どんなことを実践したいと思いますか？



祈り

天の父なる神様。エリエゼルのように自分に与えられた課題にあなたの介入を期待し、求めることができますように。